

緊急地震速報による避難訓練実施計画

熊谷市立吉見小学校

1 ねらい

- (1) 緊急地震速報についての学習を生かし、正しい緊急避難の方法を身に付ける。
- (2) 地震の性質やそれに伴う災害を考え、安全な行動がとれるよう、態度や習慣を育てる。
- (3) 災害時において冷静に、迅速に的確な行動がとれるようにする。
- (4) 児童を保護者に安全に確実に引き渡す。

2 日時

平成23年8月31日(水) (小雨実施) (雨天時体育館)

10時35分～11時00分 11時00分引き渡し開始 【学行1】

3 想定

- (1) 緊急地震速報が流れた。地震の発生が予想されるので児童自信が自分の身を守る為の行動をとる。
- (2) 数秒後、埼玉県地方に大規模地震発生。地震後火災が発生し校舎外への避難が必要である。

4 事前指導

(1) 事前学習会

- ・DVDの視聴と熊谷気象台の方のお話 7月12日(火) 図工室 (学行0.5)

低学年 9:30～ 9:50

中学年 9:55～10:15

高学年 10:35～10:55

- ・7月12日(火) 4時から緊急地震速報のCDの音源確認

(2) 地震発生時に想定される危険について

- ・落下物(ガラス・蛍光灯)・棚の倒壊・電線の切断・ガス漏れ・水道管破裂・地割れ
- ・火災による被害(ハンカチなどを携帯しておく)
- ・パニック(慌て、驚き等による個人行動の危険性)

(3) 対処の仕方

地震速報 ・教室等の出入り口を開ける。

・緊急地震速報後、直ちに自分のいる場所を考え、頭を保護する。

○教室・・・机の下にもぐる

第1動作 ○特別教室・・・机の下にもぐる。机がない場合には落下物等がない場所で低い姿勢をとる。

○校庭・・・運動や遊びをやめ、校舎や木、建物から離れ校庭中央に集まる。

地震発生

火災発生

避難の放送

第2動作 ・教師の指示を聞き、避難場所に避難する。

・「お・か・し・も」を守り、赤白帽子をかぶって避難する。

避難場所 ・校庭南鉄棒前に集合する。

引き渡し ・保護者に児童を引き渡す。

お さない か けない し やべらない も どらない

(4) 避難場所の確認(参考)

(3階) 第1動作→西階段の内側を通過→職員玄関へ

(2階) 第1動作→西階段の外側を通過→西昇降口へ

(1階) 第1動作→職員玄関へ

(校庭) 運動をやめ、第1動作を取る→避難場所へ

5 役割分担

指導配置場所	担当者	内 容
事前通報	教頭	非常警報の操作及びセコム
通報・連絡・児童名簿等の持ち出し	教頭・森山菊	関係方面・消防署への連絡
緊急地震速報・地震放送・避難放送	関根	児童、職員への放送
児童誘導	各担任	各教室
救護・保健室	権田	負傷者の応急処置等
避難場所（南側鉄棒前）	校長	避難した児童への指導
見学保護者の対応	新井幸	校庭に見学に来た保護者の対応
残留児童の確認・昇降口閉め（東・西）	森山・折原	教室等に残っている児童の確認

6 避難場所

道 路

（鉄棒）

なかよし 5年 3年 2年 1年 4年 6年

保護者 児童の後ろに並んでもらう

7 展開

※時刻は目安とする。

本 部	職 員	児 童
1 緊急地震速報 10:40	・担任は帰りの準備をし、帰りの会を済ませておく。 ・出入口を確保する。 ・児童を落ち着かせる。	・道具をかばんにしまっておく。 ・くつを持つ 1 第1動作 ・落下物に気をつけ、頭を保護する。 ・机の下に身を隠し、机の足を両手で持たせる。
【数秒後、地震発生 効果音】 「訓練、訓練。ただ今埼玉県地方に地震が発生しました。」 「（数分後）大きな揺れがおさまりました。担当の先生方は安全確認をお願いします。」 2 避難状況を把握し、的確な判断をする。 10:45 「（数分後）給食室から火災が発生しました。西側を使って校庭に避難してください。」 ・避難場所に旗を掲げる。	・担任は教室と教室近くの廊下の安全確認をする。（落下物・亀裂・頭上の安全） ・馬場（西階段3階廊下）江森（2階廊下）岡田（東階段2階まで）森山（1階廊下東階段2階まで）折原（西階段2階まで）安全確認報告校長へ 2 静かに廊下に整列させ、避難させる。 ・静かに放送を聞かせる。 ・引渡しカード（名簿を貼っておく）を持つ。 ・放送された避難経路を使わせる。 ・安全帽子をかぶらせる。（担任も帽子をかぶる） ・各階に児童が残っていないか確認する。	・静かに次の指示を待つ。 2 第2動作に入る。 ・おさない ・かけない（校舎外に出たら速足） ・しゃべらない ・もどらない ・安全帽子をかぶって避難する。 ・かばんをもって避難する。 ・上履きのまま避難する。

3 避難状況の報告を受け、安全の確認をする。 10:50	3 整列させ、人員を確認する。 (報告) 担任→学年主任→教頭→校長 報告内容 在籍児童数、出席児童数	3 人員点呼を受ける。 ・静かに腰をおろして指示を待つ。
4 指導講評 10:55 ・気象台の方 ・消防署の方 ・校長先生の話		4 静かに話を聞く。
5 諸連絡 11:05	・引渡しの連絡をする。	・保護者が来るまで静かに待つ。
6 引渡し開始 11:00開始	・引取りのチェックをして、児童を引き取ってもらう。 ・引渡しできない児童への対処をする。保護者へ連絡。	・保護者が確認できたら、保護者と一緒に下校する。

8 事後指導

避難方法の評価 ※評価カードは印刷しておく。

下記の項目について自己評価を行い、事後指導に生かす。

(ア) 協力と真剣さ (イ) 放送を聞く態度 (ウ) 先生の指示を守る

(エ) 行動時の対応 (オ) 災害時の避難路の理解

9 その他

- ・荷物、下履きを持って避難する。(下履きは袋の中に入れておく)
- ・雨天の場合には体育館に避難する。並び方は朝礼隊形で並ぶ。
- ・引渡しに来る保護者に変更がないか確認しておく。
- ・担任は出席簿、防災引渡しカード(名簿を入れて)を用意する。
- ・校庭に出てからは、担任が先頭児童を確認しながら歩いて(速めに)集合場所へ行く。
- ・来校者の控室は図工室

10 用意するもの

- ・くつカバー(来客用)
- ・ワイヤレスマイク

11 参観者接待

受付: 森山(玄関) 受付名簿

控室: 図工室 接待(長谷部)

参観者予定(未定) 動き

10:10 図工室集合

学校長の話 本日の避難訓練について説明

10:30 移動

終了後、図工室にもう一度集合していただき解散

12 保護者の動き

受付: 体育館 10:00

緊急地震速報についての学習会 10:05

児童の避難訓練の様子見学 10:40

引渡し開始 11:05

緊急地震速報を活用し、緊急時に向けた避難訓練実施計画（地震）

熊谷市立妻沼南小学校

1. 教育目標	・みんな仲よく ・なんでも頑張り ・みずから学ぶ子		
2. 日 時	平成23年 9月 2日（金） 13:10～14:10		
3. 場 所	校舎内外	4. 参加範囲	全校児童・職員
5. ねらい	(1) 防災に対する意識を高め、自分の命を守るために児童達が安全に避難する。 (2) 地震発生など緊急避難を想定し、緊急地震速報を聞いての避難基本行動から保護者への引渡し・留置きまでを訓練し、緊急時における具体的な行動を身に付ける。 (3) 安全行動が取れる集団行動を行う。		

- *1 災害は「いつ起こるか分からない」ことを前提に、今回は児童が自分達で安全に避難できるようにすることを避難訓練の目的とする。**安全に、確実に。**
 *2 普段の学校生活の中で、その立場にあった行動を取れるような時間帯を設定。
 *3 事後指導において、児童に自分達の避難の様子を振り返らせ、防災に対する意識を高める。

地震発生 震度6弱	休み時間における避難
------------------	-------------------

6. 計 画

(1) 事前指導

①日頃の地震や火災に対する備え・避難方法について話す。

*** 地震の際の各場所における避難基本行動（指導の確認）**

場 所	児童の行動（教師不在でも同様・要指導）	教 師 の 行 動
教 室	・ 出入り口を開ける。 ・ 机の下にもぐる。 ・ ヘルメットをかぶるなど頭部に注意する。 ・ 指示に従い避難する。	・ 担当はすみやかに教室に行く ・ 人員を確認し、避難口を確保し、避難場所に誘導する。
廊 下	・ 近くの教室に入る。（教室と同様） ・ 入った学級担任の指示に従い避難する。 ・ ゆとりのない時は窓ガラスや落下物のない柱に身を低くして寄り頭部を保護する。 ・ 学級以外の場所にいる児童は、近くの出口から避難する。（児童が判断）	・ 教室で人員を確認し、避難口を確保し避難場所に誘導する ・ 逃げ遅れている児童を合流させ、避難場所に誘導する。
階 段	・ 手すりにつかまり身をかがめ頭部を保護する。 ・ 下階の学級に避難し、入った学級担任の指示に従う。 ・ ゆとりのない時は、その場で放送の指示に従う。 ・ 児童だけの場合は、近くの出口から避難する。（児童が判断）	・ 教室で人員を確認し、避難口を確保し避難場所に誘導する ・ 逃げ遅れている児童を合流させ、避難場所に誘導する。
特別教室	・ 火気等の危険物进行处理し、出入り口を開ける。 ・ 身を低くして、机の下などに入り頭部を保護する。 ・ 教員のいない場合、児童は近くの出口から避難する。（児童が判断）	・ 危険物（火、ガス、電気）の処理をする。 ・ 人員を確認し、避難口を確保し、避難場所に誘導する。
トイレ	・ ドアを少し開ける。 ・ できるだけ早く近くの学級（階下教室）に入り身の安全を図る。（教室と同様） ・ 学級以外の場所にいる児童は、近くの出口から避難する。（児童が判断）	・ 取り残された児童がいないか確認しながら避難する。
体育館	・ 出入り口を開ける。 ・ 中央に集まり、身を低くし、頭部を保護する。（かがんで頭を両手で押さえる）	・ トイレ、器具庫に児童がいないことを確認し避難させる。 ・ *天井、壁の状況に対応。
校 庭	・ できるだけ中央に行き、身を低くして頭部を保護する ・ 避難場所に行き自学級に合流する。	・ 校庭避難場所に集合させ、落ち着かせる。

②状況に応じた行動を取るように指導。

緊急地震速報放送を聞き、安全な場所（その場）で避難行動をとる訓練を行う。

- ③避難時は「おかしもち」を徹底する。
特に、今回は早く避難することではなく、**落ち着いて、安全に、確実に避難することを指導。**
④整列順を決めておく。
⑤出口を開ける係り（出口に近い児童）窓開閉の係（窓に近い児童）。
⑥校内放送をしっかりと聞く。（2回聞く）
⑦避難経路を確認する。
⑧事前に児童へ連絡しておくこと。

お…おさない
か…かけない（校舎内のみ、外は小走り）
し…しゃべらない
も…もどらない
ち…ちかづかない

- ① 月 日に避難訓練を行う。
②児童だけで避難することもある（指導）。

(2) 避難訓練計画

- ①事前指導 6月22日までに完了。
※緊急地震速報が流れたとき、それぞれの場所での避難行動の方法
②6月24日昼休み
避難基本行動（事前連絡）
③6月29日昼休み
避難基本行動→避難所又は体育館へ避難→児童確認→解散（事前連絡）
④7月4日の週 2回 放送での指示に従う。
避難基本行動（連絡なし）
避難基本行動→避難所又は体育館へ避難→児童確認→解散（連絡なし）
⑤8月31日
避難基本行動→避難所又は体育館へ避難→児童確認→解散（事前連絡）

◇地震発生対策ガイドライン詳細

(3) 9月2日避難訓練計画

※避難訓練の概要

タイムスケジュール

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ◇1 関係機関集合 体育館一集会室 | 12:10 体育館ロビー受付（PTA2名） |
| ◇2 あいさつ（校長、県教育委員会） | 12:15 接待（PTA3名） |
| 訓練参加機関紹介（教頭） | |
| 訓練内容説明（教頭） | |
| ◇3 保護者集合 体育館 | 12:35 |
| ◇4 保護者向け研修会（气象台） | 12:40 |
| ◇5 教職員参観者集合 | 13:10 体育館ロビー受付（PTA2名） |

- ①緊急地震速報が流れる 13:20
②休み時間における避難行動 13:20
③避難所（校庭又は体育館）への避難 13:25
・クラスごとに名簿順に整列。
・保護者、スクールガード、地域の方等は、避難の様子を参観
④（教室に戻り、帰りの支度をして）体育館へ避難 13:40（13:35）
・児童は、帰りの支度をし靴等を持って体育館へ行く。（事前に用意しておく）
・保護者、スクールガード、地域の方等は、体育館に移動し各地区に別れる。
⑤体育館にて引渡し・留め置き訓練 13:50（13:40）
・整列して体育館に入ったら、担任は児童を各地区に分ける。
・担任は、体育館にて引渡しカードを持って担当地区に行き、引渡しを行う。
・スクールガード等は、地区の整理・整頓にあたる。
⑥指導講評 14:10（13:50）
・校長・教委・气象台・消防署
⑦訓練終了 14:30
⑧体育館から、地区ごとに危険箇所の点検をしながら下校
⑨協議－避難訓練の反省 14:40（14:20）

教 師 の 行 動	児 童 の 行 動	準備等
※それぞれの場所（通常通り）	※自由遊び	
緊急地震速報（13：20）震度6弱の地震想定（20秒）		放送担当 教頭
※20秒後		
訓練、訓練、ただいま熊谷地区に震度6の地震が発生しています。その場所で頭を守り避難しましょう。児童は、近くを通った先生の指示に従いなさい。 (放送2回) (2分間)		緊急放送
○各担任は、その場から安全に気を付けながら次のことに留意して自分の学級に向かい、避難態勢をとる。 ①廊下等にいる児童に、近くの教室に避難するように指示する。 ②階段にいる児童に、下の階の教室に避難するように指示する。状況に応じて自教室へ連れて行く。 ③自教室で児童の安全を確認しながら、自分も避難する。 (非難しながら教室にいる人数、児童の様子を確認する。) 校長―校庭の児童のもとに行き、避難誘導する 笹岡―1階特別教室から1年教室に向かい等へ向かい児童の有無を確認し、1年の教室で避難する。 児童がいた場合、安全な場所へ避難させる。 須永―2階特別教室から4年教室に向かい児童の有無を確認し、4年の教室避難する。 児童がいた場合、安全な場所へ避難させる。 堀越―緊急バッグを持ち、げんき橋付近で待機する。 ◆第一避難	①それぞれに応じた避難行動。 *廊下、階段、トイレにいる児童は、できるだけ近くのクラスに避難する。 校庭にいる児童は、その場で頭を守り姿勢を低くする（すわる）。 ②教室にいる児童は、出入り口を素早く開ける。 ③天井、壁等の落下物に注意し、机の下に避難する。 ④窓際はガラスの散乱に注意し、離れる。 ⑤静かに放送の指示を待つ。	緊急避難速報
訓練、訓練、各先生の指示に従い、全員第一避難所に避難しなさい。児童だけである児童は、近くの出口から第一避難所に避難しなさい。(放送2回)		緊急放送
○クラスにいる児童や途中で合流した児童を誘導し第1避難所に避難する。 ○第1避難所では、避難させた児童を各学年に合流するよう指示する。 ○所定の場所で自学級の児童を名簿順に整列させ、直ちに人数確認と異常の有無を校長に報告する。 校長―校庭の児童を誘導し、避難本部で待機する。 笹岡―1階で逃げ遅れた児童がいないか確認してから第1避難所に向かう。 児童がいた場合、第1避難所へ避難させる。 須永―2階で逃げ遅れた児童がいないか確認してから第1避難所に向かう。 児童がいた場合、第1避難所へ避難させる。 堀越―緊急バッグを持ち避難本部で待機する。	○「おかしもち」を守る。 ○児童だけになっている場合は、近くの出口から第1避難所に向かう。 ○校庭等にいる児童は、自学級と合流する。 ○第1避難所では、避難させてくれた先生の指示に従い、自分の学級に合流する。 ○避難場所では、静かに整列し人数確認を受ける。 ○第一避難所に指示があるまで待機。	緊急放送 教師 出席簿
		緊急バック

◆避難所（体育館）への避難 校長一学校が避難所となることを指示。 安全が確認されるまで、保護者と共に体 育館に避難している旨を指示する。 ※校長 地震は、今はおさまっていますが、今後いつ起こるかわかりません。また被害 状況もわかりません。これから、みなさんの保護者もやってきます。保護者 と一 緒に、安全が確認されるまで、学校に避難しています。 担任の先生は、児童に下校の準備をし、体育館に避難させ、引渡しの準備をし てください。 ○1年生、2年生……の順に教室へ向かう。 ○1年生、2年生……の順に教室へ向かう。 ◆避難所での引渡し・留置き訓練					本部救護旗 マイク										
職 員 の 動 き	児童の動き	保護者の動き	スクールガード 等の動き	準備等											
○教室に戻り、下校の用意をさせ る。 ○各担任は、児童に靴を持たせ体 育館に避難させる。 ○体育館に入ったら、各地区に児 童を振り分ける。 ○引渡しカードを持って担当地区 に行く。 ※児童の対応 ○児童を整列させる。 ○通学班長と人数確認する。 ○担当地区の児童がそろったら、 引渡しカードを確認しながら児 童を保護者に引き渡す。 ○児童、保護者と共に各地区で待 機する。	○教室に戻り下校の 用意をする。 ○靴を持って体育館 に避難する。 ○各地区ごとに、通 学班ごとに並ぶ。 班長は人数確認を する。 ○保護者と合流し、 各地区で待機する	○体育館に移動 する。 ○地区ごとに別 れ児童がそろ うまで待機し ている。 ○担当職員、ス クールガード 等の指示に従 う。 ○引渡しカード を確認しなが ら児童を引き 取る。 ○各地区ごとに 児童と共に待 機する。	※保護者の対応 ○各地区の保護 者を整列させ る。 ○担当職員が引 渡しを行う際 にスムーズに 引渡せるよう に補助する。 ○児童と保護者 を地区ごとに 整列させ、待 機する。												
体育館 保護者出入り口 <table><tr><td rowspan="3">ス テ ー ジ</td><td>北口</td><td>中口</td><td>南団地</td></tr><tr><td>浅見</td><td colspan="2">弥藤吾新田</td></tr><tr><td>年代</td><td>中央</td><td>杉の道 王子</td></tr></table> 保護者出入り口 保護者出入り口					ス テ ー ジ	北口	中口	南団地	浅見	弥藤吾新田		年代	中央	杉の道 王子	保護者出入り口
ス テ ー ジ	北口	中口	南団地												
	浅見	弥藤吾新田													
	年代	中央	杉の道 王子												
指導講評 ・校長 ・气象台 ・消防署 ○各地区ごとに、ステージ中央を向き、指導講評を受ける。 ○訓練終了				マイク											
○地区ごとに、体育館から下校さ せる。	○地区ごとに保護者 と共に危険箇所を 確認しながら下校 する。	○地区ごとに児 童と共に危険 箇所を確認し ながら帰宅す る。	○地区ごとに児 童と共に危険 箇所を確認し ながら帰宅す る。												

緊急地震速報による避難訓練計画

熊谷市立籠原小学校

1 目的

- 緊急地震速報について学習し、速報が出た際に自らの命を守るためにはどうすればよいかを考え、正しい退避行動の仕方を身につけさせる。
- 児童及び教師の防災意識の向上を図る。
- 地震時の避難の仕方について理解し、安全な行動がとれるようにする。
- 通報をよく聞き取り、安全に速やかに指示された場所へ避難することができるようにする。

2 日 時

平成23年6月17日（金）第1～5学年5校時、第6学年5、6校時

3 避難場所

校庭南ろくぼく前

4 事前指導（13:55 ～ 14:05）

災害時の危険・避難の仕方・避難経路の確認等

5 訓練・避難要領

（訓練の想定）

東京湾北部地震（マグニチュード7.3）最大震度は6強である。最大震度が6強となる市区町村は、南東部を中心に24市区町村となる。震度6強の領域は集中せず、地盤が揺れやすい箇所に散在する。校舎倒壊のおそれあり。校舎外への避難の必要あり。

（展開）

○活動 ・留意点

本 部	教 師	児 童
1 【緊急地震速報と地震発生の効果音の放送】 (14:05～) 『訓練、訓練、ただ今地震が発生しました。安全確認が終わるまで机の下にもぐっていなさい。』	1 緊急地震速報を聞いたら、 ○出入り口の確保 ○火の始末、コンセントを抜く ○児童の安全確保 ○教室内外の安全確保	1 緊急地震速報を聞いたら、 ○机の下などにもぐる。 ○地震の揺れの収まるのを待つ。（机の脚をつかみ揺れによる移動を防ぐ） ○落下物に気をつけ頭部を保護する。
地震による停電		
2 被災状況を掌握する。 (14:07～)	2 被災状況を確認する。 A棟1階・・・桑島 A棟2階・・・長島 A棟3階・・・定方 B・C棟1階・・・永野 B・C棟2階・・・木元、山田 B・C棟3階・・・吉川 D棟1階・・・下山 D棟2階・・・角田 ○報告手順に準じて報告する。	2 安全を確保する。 ○机の下などにもぐったまま静かに教師の指示を待つ。
3 避難指示を出す。 (14:10～) 『避難経路の確認ができました。第1経路を使い、すぐに避難しなさい。』 ○避難経路（別紙） A棟1階・・・ A棟2階・・・	3 児童を指示に従い校舎外に避難させる。（学年主任） 『静かに早く廊下に並びなさい。』 ○出席簿を持つ ○落下物が少ないところを通り避難させる。	3 廊下に並び、避難場所に避難する。 ○頭部を保護して並ぶ。 ・おさない ・かけない ・しゃべらない ・もどらない ・ちかづかない

第2回避難訓練・児童引渡し訓練計画

熊谷市立成田小学校

1 ねらい

- (1) 緊急地震速報を聞いた時に、落ち着いて素早く行動し、安全に避難ができるような方法を身につけさせる。
- (2) 災害時、速やかに、確実に児童を保護者に引き渡すことができるように、引渡しの方法を確認する。

2 訓練の想定

- (1) 緊急地震速報が発令。東京湾北部を震源とする大きな地震が発生し、熊谷地方には震度5強以上の揺れが発生した。
- (2) 地震の影響で、建物に被害が予想され、校舎外に避難の必要がある。

3 日時

- (1) 平成23年6月1日(水)

第5時授業	13時55分
避難訓練	14時05分
引渡し訓練	14時40分
- (2) 雨天の場合
 - ①避難訓練は、緊急地震速報を聞き、落ち着いて素早く行動する訓練のみを行い、校庭には避難しない。
 - ②保護者への引渡し訓練は、各教室にて行う。

4 避難経路・避難場所

通常の避難経路にて、避難場所B校庭へ

5 訓練の内容

児 童	教 師
14:05 1 緊急地震速報の放送を聞いて、机の下に体を隠す。教室外にいる場合、上からものが落ちてこない場所に移動し、体を低くする。	・音が鳴ったらすぐに、出入り口を開ける。 ・机の両手で持たせる。 ・火の始末、コンセントを抜く。
地震発生後担任は、児童の安全、教室と教室近くの廊下の安全確認（①落下物②亀裂③頭上の安全）担任外は、校長の指示で階段、廊下のチェックを行う。 教頭は、校長に避難経路の安全について報告する。	
緊急地震速報と地震発生の効果音の放送	
訓練、訓練。先生方は、児童の安全確認をお願いします。	
地震がおさまりました。児童の皆さんは、机の下から出てください。	
14:10 (安全確認次第、放送)	
訓練、訓練。今後、大きな余震のおそれがありますので、校庭に避難してください。	
2 校庭に出るため廊下に並ぶ。 ・廊下に出て、2列に並ぶ。 ・上履きのままで避難する。 ・紅白帽をかぶる。	・出席簿を持つ。 ・避難の方向は学年主任が判断の上、指示を出す。 ・全員が廊下に出たことを確認する。 ・一番最後の先生は、子どもたちの後ろにつく。

3 屋内は順序よく、走らないで避難する。 ・絶対に前の人を押したり、追い越したりしない。 ・先生の指示をしっかりと聞く。 ・校舎から離れて避難する。 4 屋外に出たら、足早に歩いて、集合場所に行き、2列に並ぶ。	・児童の様子を見る。 ・「おかしもち」の約束の確認 ・避難が終わったかどうか確認する。 第一校舎（篠崎）第二校舎（横塚）
14:20 5 指導講評を聞く。 司会 田中 ・校長 ・气象台の方	・人数確認を最優先する。 担任→学年主任→教頭、校長（本部） ＜本部＞校長、教頭（計時）＜救護＞大谷 ＜全体観察＞鈴木
14:30 6 教室へ荷物を取りに行く。	
保護者に向けて、气象台の方の話	
14:40 引渡し訓練 説明 （１）荷物を持って、集合場所に2列に並ぶ。【保護者（引取り人）は、下の学年の児童から引取りを行う。】 （２）児童は引取り人と共に下校する。	・担任は、保護者（引取り人）を確認して、名簿にチェックしながら児童を引渡す。

避難場所

プール

○カラーコーン

B校庭			
	5年	○	引取り人 待機場所
	3年	○	
	1年	○	
本 部	2年	○	
	4年	○	
	6年	○	

第1回避難訓練及び児童引渡し訓練について

熊谷市立江南北小学校

- 1 日 時 平成23年6月3日(金) 6校時 校庭
雨天時・・・体育館
- 2 目 的 (1)児童及び教師の防災意識の向上を図る。
(2)児童一人一人の地震発生時における基本的行動様式を身に付けさせる。
(3)地震発生時に敏速に安全な行動がとれるようにする。
(4)震度5以上の地震が発生した場合、児童を保護者に円滑に引き渡すことができるようにする。
(5)緊急地震速報発令の校内放送を聞いて、身を守る安全な行動がとれるようにする。
- 3 想 定 ○東京湾北部地震(マグニチュード7.3)最大震度は6強である。最大震度が6強となる市区町村は、南東部を中心に24市区町となる。震度6強の領域は集中してはいなく、地盤が揺れやすい箇所に散在する。校舎倒壊のおそれあり。併せて校内で火災が発生。校舎外避難の必要あり。
- 4 当日の日程

(1) 帰りの会	14:40～14:55
(2) 事前指導	～15:05
避難訓練	15:05～15:25
保護者へ引渡し訓練	15:25～15:35
- 5 避難訓練
 - (1) 事前指導
 - ア 地震発生時に予想される危険について
 - 落下物(ガラス、カワラ) ○電線の切断
 - 棚の崩壊 ○地割れ
 - イ 対処の仕方
 - 緊急地震速報発令の合図により安全対策をとる。
 - (教室) 机の下にもぐる。
 - (特別教室) 机の下にもぐる。机等のもぐるものがない場合には、その場に
応じた適切な指示を出す。
 - (校庭) 校舎や木、電信柱等から離れた安全な場所に集まる。
 - (体育館) 中央に集まる
 - ・揺れが収まるのを待つ
 - ・地震に伴う火災防止の措置をする。
 - ・避難口確保のためにドアや窓を開ける。
 - ウ 避難経路の確認
 - どの避難路を使い、どこに集まるのかをしっかりと理解する。
 - 頭を保護する。(安全帽子等)
 - エ 引渡しの仕方
 - 引渡しの意義について知らせる。
 - 児童には誰が引取り者か確認させておく。
 - 引取り者には児童の学級名、担任名を確認しておいてもらう。
 - 兄弟の場合は低学年の方から引取ることをお願いする。
 - すぐに引取りに来られない場合は学校で保護しておくということを知らせておく。

(2) 展開

本 部	教 師	児 童
1 緊急地震速報非常用鐘を打つ 「訓練 訓練 訓練 ただ今緊急地震速報あり。全員机の下に避難せよ。」	1 作業などをやめさせ、窓を開けるように指示する。 ○出入口の確保 ○火の始末、コンセントを抜く。 ○出席簿を持つ	1 放送を正しく聞き、静かに教師の指示を待つ。 ○机の下などにもぐり、地震の揺れの収まるのを待つ（※机の脚をつかみ揺れによる移動を防ぐ。） ○落下物に気をつけ頭部を保護する。 ○次の指示を静かに待つ
2 避難状況を視察し、的確な情勢判断をする。 ○異常箇所等の確認 ※笛の音で確認 →（異常なし） 「揺れがおさまりました。第1経路を使い、すぐに避難してください」 （停電を想定し、乾電池対応のメガマイクにて放送） （※本部旗を目印として避難場所に出す） *ラジオの準備	2 児童を指示に従い校舎外に避難させる。 ○異常箇所等の確認・連絡 ※笛で連絡 ・異常なし…「ピッピッ」（短い笛2回） ・異常あり…「ピー」（長い笛の繰り返し） 「静かに早く廊下に並びなさい。」（名前の順2列・バディ活用） ○落下物ができるだけ少ないと思われるところに避難させる。（避難経路に従うとよい） ※各階の責任者は避難しながら残留児童の有無を確かめ、移動する。	2 廊下に並び、避難場所に避難する ○頭部を保護して並ぶ ・おさない ・かけない ・しゃべらない ・もどらない ・ちかづかない
3 避難状況の報告を受け安全の確認をする。	3 整列させ人数確認。 ○報告 （担任→学年主任→教頭→校長）	3 人員の点呼を受ける。 ○静かに腰を下ろして指示を待つ。
★ 家庭科室火災発生 ○携帯電話にて119番通報（教頭） ○消火班への連絡（山田） ●鎮火	○消火班は消火器を持ち現場へ消火班…村越、小川、栗島、栗田、田村 ○消火班以外の担任は、児童の掌握 ●消火班は本部へ戻る	○教師の指示に従い、静かに待つ。
4 指導講評 ・校長 ・气象台より ・消防署より	4 児童への指導・観察	4 静かに話を聞く。
5 引渡し訓練開始	5 災害時引取り人名簿で確認しながら、保護者に児童を引渡す。	5 誰が引取り者かできるようにしておく。
6 保護者の来ない児童を学校で待機させる。		

(3) 事後指導（避難の仕方の評価）教室で担任と児童とで行う

- 静かに指示が聞け、指示通りの行動がとれたか。
- あわてず、助け合って、安全に避難ができたか。
- 「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない」を実行できたか。
- 問題点をはっきりさせ、次回に生かそうとできたか。

(4) 各階責任者

北校舎1階（特支担任） 北校舎2階（1・2年担任） 北校舎3階（3・4・5・6年担任）
南校舎1階（杉田） 南校舎2階（柚木原） 管理棟保健室（茂木） 体育館（松本）
用務員室（加藤） ★家庭科室火災発生の連絡（柚木原）

(5) 備考

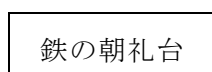
- 訓練中のけがに注意する。（※連絡通路の渡り板に注意）
- 本部で、放送してから避難するまでの時間を計時して、指導講評の時に発表する。

6 係分担

- ・本部＝校長、教頭
- ・避難放送＝教頭
- ・全体観察＝松本
- ・計時＝山田
- ・救護＝茂木
- ・災害時引き取り人名簿持ち出し＝佐藤
- ・放送準備＝柚木原
- ・司会＝杉田

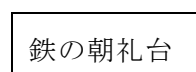
7 避難場所及び隊形

《朝礼隊形》



広がる

《ひき渡し隊形》



児 5 3 1 2 4 6
童 年 年 年 年 年 年

5 3 1 2 4 6 と
年 年 年 年 年 年 ち
の
実

ライン

保 護 者

*避難は、そのまま下校できる支度で避難する。

- 1 ランドセル、荷物
- 2 通学帽子
- 3 上履き（引取り終了後に運動靴に履き替える）

8 その他

- ・児童には、当日までにDVD「その時、あなたはどうする！緊急地震速報」を視聴させ、避難について、予め指導をしておく。
- ・当日保護者には、「PTA防災研修会」を開催し、DVD「その時、あなたはどうする！緊急地震速報」を視聴と熊谷地方気象台職員、熊谷消防署職員より講話を予定。その後、校庭南側にて児童等の避難の様子を見学する。